

平成23年度
教育委員会の点検・評価
報告書

平成24年8月
あま市教育委員会

目 次

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員の活動状況
5. あま市教育立市プランの策定
6. 主な事業の取組状況
 - (1) 学校教育課
 - 教職補助員配置事業
 - 英語教育の推進
 - 教育相談センター事業
 - 小中学校適正規模等検討委員会
 - 特別支援学級補助員配置事業
 - 学校 ICT 支援員配置事業
 - 学校生活安全員配置事業
 - 親と子の相談事業
 - 人権教育（人権教育研究会）
 - 小中学校施設整備事業
 - 学校教育事業

(2) 生涯学習課

- 社会教育事業
- 公民館事業
- 成人式事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 人権教育推進事業
- 文化振興事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 社会教育施設整備事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- その他スポーツ事業
- 社会体育施設整備事業
- 文化会館自主事業
- 図書館事業

(3) 学校給食センター

- 学校給食事業

7. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 教育委員会会議の開催状況

平成23年度は定例会議を12回開催しました。

(1) あま市教育委員会委員（平成24年3月31日現在）

職名	氏名	任期
委員長	にのみや てつや 二ノ宮 鉄弥	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成25年6月24日
委員長職務代理者	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成24年6月24日
委員	なんや えみこ 南谷 恵美子	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成26年6月24日
委員	ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎	平成23年6月25日から平成27年6月24日
教育長	みずの よしみ 水野 良美	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成24年3月31日

(2) 教育委員会会議等

開催日	開始時間	議案件数	報告件数
平成23年 4月19日	午後 2時00分	7	7
5月17日	午後 1時30分	6	3
6月25日	午後 1時30分	7	4
7月21日	午後 2時00分	10	7
8月17日	午後 2時00分	7	6
9月22日	午後 3時00分	6	4
10月18日	午後 2時00分	5	4
11月17日	午後 2時00分	6	4

12月19日	午後 2時00分	5	4
平成24年 1月23日	午後 2時00分	11	1
2月20日	午後 2時00分	6	1
3月14日	午後 3時30分	7	5

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「後援申請」「就学援助費の受給審査」「区域外就学、指定校変更」「教科用図書の採択」など83件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

委員の活動状況は次のとおりでした。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。

○市議会関係	42回
○都市教育長会事業	12回
○海部地方教育事務協議会	4回
○学校行事	49回
○学校訪問	18回
○生涯学習課事業	41回
○学校給食センター事業	4回
○市長表敬訪問	9回
○その他の事業	57回

5. あま市教育立市プランの策定

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）を育み、あま市らしい人づくり（「あま力」を備えた市民。すなわち自らの判断と責任で地域の諸課題に取り組むことができる市民）を進めていきます。そして、教育の使命をまちぐるみで共有し、世界で活躍できる人づくりに向けて、市民一人一人が教育にかかわる楽しさと豊かさを実感できる教育環境を実現していきます。

これらの考えを具体化し実践していくため、市教育委員会は「あま市教育立市プラン（案）」を基に、平成24年1月から2月にかけて行ったパブリックコメントの結果を踏まえ、23年度末に「あま市教育立市プラン」を策定しました。

この教育立市プランは、教育行政や学校の喫緊の課題に対して教育委員会がどう考え、どう取り組んでいくかを市民にわかりやすく示し、市民と共に様々な課題を解決していくことを目指してこれから概ね10年間を展望した、あま市の教育の目指すべき姿を描き策定したもので、次の6つの重点施策で構成されています。

- (1) 学校の教育力を高め、児童・生徒に確かな学力を身につけさせる
- ・教職員が自らの力を伸ばして学校の教育力を高めることなどにより、子どもの力を高めます。
 - 教員の資質向上
 - 若い教員の人材育成の充実
 - 「スクールサポーター(旧支援員、補助員)」の充実
 - 小学校等での外国語活動の充実
 - 食育の推進
 - 小中連携教育の推進
 - 幼保小連携教育の推進
- (2) 人に思いやりを持ち、共に生きる子どもを育む
- ・生命の尊さや価値を知り、お互いの存在を尊重できる、こころ豊かな子どもたちを育てることに取り組みます。
 - 教育相談センターの充実
 - いじめ・不登校対策協議会の推進
 - 人権教育の推進
 - 総合的な子ども支援の推進
- (3) 地域に密着した学校を創る
- ・学校を開き、家庭・地域・学校が連携し、学校の抱える問題に対し、きめ細やかに対応する仕組みづくりに取り組みます。
 - 「学校支援関係者会(仮称)」の設置
 - 「教育人材バンク(仮称)」の設置
 - キャリア教育の推進
 - 地域を主体とした学校施設の管理及び有効活用の推進
- (4) 特色ある学校を創る
- ・各学校がそれぞれの特性を活かし、地域に開かれた魅力ある学校づくりの取り組みに努めます。
 - 学校の情報公開の推進
 - 学校評価の推進
 - 特色ある学校づくりの推進
- (5) 教育環境の整備と充実に努める
- ・安全・安心で快適な環境の中で学ぶことのできる、安全性や機能性の高い学校づくりに取り組みます。
 - 快適な教育環境の整備
 - あま市立小中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組み

(6) 共に学び、楽しむ生涯学習社会を創る

- ・個性豊かで活力に満ちた市民主体の生涯学習社会づくりに取り組みます。
 - 生涯学習施設の充実
 - 地域スポーツの推進
 - シニア世代の能力活用
 - 子どもの読書活動

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■教職補助員配置事業

児童生徒の基礎学力の充実を目指し、T T(チーム・ティーチング)指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

- ・スクールサポーター 63人(緊急雇用創出事業8人含む)

※きめ細かい少人数指導が実施でき、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、T Tの授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

(T T：担当の教師が進める授業に、教師と教職補助員がチームを組み、生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。)

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、邦人と外国人の非常勤講師を英語指導助手(A L T)として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- (1) 中学校の英語科授業における英語指導
- (2) 小学校の英語活動における英語指導
- (3) 授業で使用する教材の作成
- (4) 教員に対する現職研修
- (5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- (6) 研修やミーティングへの参加

- ・小学校：英語指導助手 7人(アメリカ合衆国、カナダ、日本)
- ・中学校：英語指導助手 4人(アメリカ合衆国)

また、市内外国語部会を年間2回開催し、各学校の外国語活動の取組について情

報交換を行いました。夏休みには、教員のための「市内外国語研修」を開催し、指導法の研修を行いました。

※各小学校では、ALTとのTT指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、ALTと英語教師によるTT指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

夏休みの教員を対象とした市内外国語研修では、先進的に取り組んでいる学校に、実際の授業の様子を紹介してもらったり、模擬授業を体験したりすることで、外国語指導の不安の解消をすることができました。

平成23年度からは、5・6年生において、外国語活動の実施が義務付けられていることから、より高い指導力の教育体制づくりを目指していきます。

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」・「相談活動」・「不登校などの指導」の三つの柱とし次の事業を実施しました。

○学校支援事業

学校における日々の指導の中で、子ども同士のかかわりや高まりを大切にしたい学級経営や授業の改善を進める必要があります。そこで校内における現職教育や「あま市教職員研修」の充実をめざして、「教育アドバイザーの派遣」と「教師力パワーアップ講座」を実施しました。

・教育アドバイザー派遣事業

各学校の教科指導、児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招聘した。

・教師力パワーアップ講座

12月より教員の力量向上を目指して3回の講座を実施しました。いずれの講座も児童生徒の正しい理解を目指して、特別支援やカウンセリングのあり方から心の問題に迫る講義でした。

○教育相談事業

教育上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

- 【職員】
- ・教育相談員 1人
 - ・心理支援相談員 1人
 - ・教育アドバイザー 1人（臨時講師）

【教育・心理 相談件数】

- ・保護者 88件

・児童生徒 52件 合計 140件

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生活指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

【職員】 ・専任指導員 1人
・補助員 7人

【通室者】・平成23年度適応指導教室の登録者数 18人
・適応指導時間数 のべ3800時間

※教育相談室、適応指導教室、学校支援室など学校教育活動の支援体制を充実することができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理士の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。

■小中学校適正規模等検討委員会

あま市立小中学校適正規模等検討委員会を置き、学校教育環境の整備を図るため、小中学校の適正な配置及び規模について検討した提言書が市教育委員会委員長へ提出されました。

・検討委員会委員	15名	
・事業内容	第4回	平成23年6月17日 議題：①適正配置及び規模の適正化に係る具体的な方策
	第5回	平成23年8月31日 議題：①適正規模化に向けた取組みにおいて留意すべき事項 ②提言書（案）
	第6回	平成23年11月21日 議題：①提言書（案）

※23年度は3回の検討委員会（22年度から通算6回）を踏まえ、23年12月19日に提言書を作成し、検討委員会会長から市教育委員会委員長へ提出されました。

■特別支援学級補助員配置事業

緊急雇用創出事業により、介助の必要がある児童の自立に向け、正則小学校、甚目寺小学校、甚目寺南小学校へ特別支援補助員、宝小学校、伊福小学校、秋竹小学校、美和小学校、篠田小学校に学習支援員を配置し、個々の特性と教育的ニーズに対応した支援を行いました。

- ・特別支援補助員 3人
- ・学校学習支援員 5人

※通常学級や特別支援学級に在籍する介助が必要な児童に対しても、安定した学校生活を送れるように、適切な指導や支援を行うことができました。

■学校ICT支援員配置事業

緊急雇用創出事業により、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校、美和中学校を対象に、教員のICT基礎的知識と指導力の向上を目指して、技術的支援を行いました。

- ・学校ICT支援員 1人

※教職員のICTに関する基礎知識が向上し、教育的ニーズに合ったコンピュータ環境を整えることができました。

■学校生活安全員配置事業

緊急雇用創出事業により、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校、美和中学校に、警備員を1名ずつ配置し、学校内外の巡視や危険箇所の整備等を行い、児童生徒の安全管理を行いました。

- ・学校生活安全員 5人

※来校者の確認及び校内の巡視により危険箇所を整備し、事故等を未然に防ぐことができました。また、登下校の際は、校外で安全巡視を行い、交通事故防止に効果がありました。

■親と子の相談事業

ふるさと雇用再生事業により、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校に、相談員を配置(各学校週1日)し、児童、保護者及び学校関係者の相談事業を行いました。

- ・相談員 1人

※児童が教師に言いだせない友達や家族のことなどの悩みを相談することができました。また、教師も通常学級に障害を抱える児童などについて、気軽に相談することができました。

■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は平成23年度の研究主題を「人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係を育む教育」として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

- ・会 長 甚目寺小学校長
- ・事業費 800,000円（市補助金）
- ・主な活動内容
 - 海部地区人権教育講演会実施
 - 全国同和教育研究大会等参加
 - 研究紀要の作成

※児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取り組みの継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

■小中学校施設整備事業

安全・安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○エレベーター改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

設置後30年以上が経過する給食用昇降機は、部品の消耗劣化が進み誤作動もあるため、事故が発生する前に改修し施設整備に努めました。

- ①事業内容 宝小学校エレベーター改修工事
事業費 11,980,500円
- ②事業内容 伊福小学校エレベーター改修工事
事業費 12,936,000円
- ③事業内容 甚目寺西小学校エレベーター改修工事
事業費 14,773,500円
- ④事業内容 美和中学校エレベーター改修工事
事業費 12,862,500円

※この改修工事を実施したことにより、安全・安心な学校にすることができました。

○プール改修工事

プールの塗装が経年劣化し防水効果が低下しているため、防水塗装を実施し施設整備に努めました。

- ①事業内容 甚目寺西小学校プール改修工事
事業費 18,669,000円
- ②事業内容 甚目寺南小学校プール改修工事
事業費 15,890,700円

※この改修工事を実施したことにより、防水効果が改善でき、施設の耐久性を向

上することができました。

○美和小学校校舎庇改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

校舎の老朽化に伴い、庇部分の防水シートが劣化し、先端のモルタルが剥離落下したため、建物の腐食の進行を防ぐための防水改修と先端部分をカバーするなど施設整備に努めました。

事業内容 庇部分の防水改修と先端部分の水切幕板金物取付
事業費 22,008,000円

※この改修工事を実施したことにより、校舎庇部分の改善ができ、施設の耐久性と児童の安全性を向上することができました。

○甚目寺中学校体育館更衣室屋根防水工事

体育館更衣室の雨漏りが激しいため屋上の防水工事を実施し施設整備に努めました。

事業内容 屋上防水工事及び更衣室等天井張替え工事
事業費 13,650,000円

※この改修工事を実施したことにより、防水効果が改善でき、施設の耐久性を向上することができました。

○七宝中学校駐輪場増設工事

生徒の増加により自転車通学する生徒の一部が駐輪場に置けず、雨ざらしになっていたため、駐輪場の増設を行いました。

事業内容 96台分の駐輪場を増設
事業費 5,008,500円

※この増設工事を実施したことにより、安全・安心な学校にすることができました。

○扇風機設置工事

夏場の猛暑に備え、未設置の七宝地区と甚目寺地区の小中学校の普通教室に4台の壁掛型扇風機を設置します。この工事は平成24年2月27日に着手し、同年6月29日に完了する予定です。

事業内容 1,008台の扇風機を設置
事業費 18,595,500円

※この設置工事を実施することにより、教育環境の整った学校にすることができ
ます。

■学校教育事業

学校活動を円滑かつ充実させるために次の事業を実施しました。

○あいち・出会いと体験の道場推進事業

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため全中学校の2年生を対象に実施しました。

- ・ 県委託金 480,000円 (20,000円/1学級)
- ・ 実施内容

学 校 名	参加生徒数	実 施 日	受 入 事業所数
七宝中学校	168名	10月21、27、28日	56
七宝北中学校	67名	6月28～30日	6
美和中学校	202名	10月19～21日	54
甚目寺中学校	221名	11月11、14、15日	56
甚目寺南中学校	189名	11月8～10日	55

※自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

○理科支援員等配置事業

愛知県の委託事業として、支援員を配置し、教員が協力して授業を行うことにより、理科の授業の充実・活性化を図るとともに、教員の観察・実験等体験的学習に関する指導力向上を図りました。

県委託金：600,000円

実施校：宝小学校、正則小学校

実施学年：5、6年生

支援員：講師 1人、大学生 5人

※実験の準備や予備実験、教材研究などが十分にでき、児童の不安や分からないところを素早く支援できました。また、授業を計画的に進行でき、担任は授業に取り組み易くなるとともに、高学年の授業がより充実しました。

○世代間交流交通安全活動推進事業

愛知県の委託事業として、子どもと高齢者が地域住民の世代の垣根を越えた交流を通じて、高齢者の交通安全啓発活動に取り組む事業を実施しました。

県委託金 300,000円 (150,000円×2校)

実施校 伊福小学校、甚目寺西小学校

主な事業内容

見守り隊による下校時の見守り

防犯、交通安全マップ作成

交通安全標語募集

交通安全教室

※児童の交通安全に対する意識が確実に向上し、高齢者にも交通安全についてアピールでき、今後の交通事故防止に極めて有効でありました。

○授業力向上支援事業

市の単独事業として、市内全小中学校の教員に対して、各教科における育みたい資質や能力を客観的に見取るための評価方法を研究し、授業力の向上を図りました。

また、新学習指導要領に向けて指導計画や評価基準の研究をし、新学習指導要領に対応するための指導力を培うことをねらいとした研修等を実施しました。

※研究・研修により、教員としての意欲が増し、授業や特別活動などの指導力も向上しました。

(2) 生涯学習課

■社会教育事業

市民の自発的な学習意欲を喚起し、その意欲を満たすような学習の機会や場を提供しました。

○社会教育事業

下記のとおり市民大学講座を開催し、多くの参加を得ました。

七宝公民館

講座名	対象	回数	受付け者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
市民大学講座	一般	6回	—	28名	—	116名	

美和公民館

講座名	対象	回数	受付け者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	

市民大学講座	一般	6回	—	12名	—	55名	
--------	----	----	---	-----	---	-----	--

※市民大学講座を通じて、幅広い知識を学ぶことができました。また、市民と市民の繋がりを深めることができました。

■公民館事業

住民の学習ニーズにあった学習の場を提供し、個人や地域の問題解決のきっかけ作りとしました。

○親子ふれあい講座

下記のとおり小学生の親子対象の講座を開催し、多くの参加を得ました。

七宝公民館

講座名	対象	回数	受付者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
親子フラワー①	親子	1回	13組	23名	13組	23名	
親子フラワー②	親子	1回	7組	13名	7組	13名	
親子パン①	親子	1回	15組	31名	15組	31名	
親子パン②	親子	1回	8組	18名	8組	18名	
親子パン③	親子	1回	10組	20名	10組	20名	
親子パン④	親子	1回	12組	25名	12組	25名	
親子スクラップブック	親子	1回	5組	8名	5組	8名	
親子お菓子作り①	親子	1回	15組	31名	15組	31名	
親子お菓子作り②	親子	1回	13組	28名	13組	28名	

○公民館講座

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

七宝公民館

講座名	対象	回数	受付者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
パン作り教室	一般	5回	—	39名	—	185名	
布ぞうり作り	一般	4回	—	16名	—	60名	

デジタルカメラ入門～撮る・見る・楽しむ～	一般	3回	—	21名	—	62名	
乳児健診読み聞かせボランティア養成講座	一般	5回	—	20名	—	90名	
楽しく学ぶ英会話レッスン	一般	5回	—	10名	—	38名	
中国気功入門	一般	7回	—	40名	—	230名	
素敵にトールペイント（託児付）	一般	5回	—	13名	—	57名	
クリスマスケーキ作り（託児付）	一般	1回	—	45名	—	45名	
パソコン初級A	一般	6回	—	4名	—	24名	
パソコン初級B	一般	6回	—	9名	—	54名	
ワード初級	一般	6回	—	12名	—	67名	
エクセル初級	一般	6回	—	15名	—	88名	
エクセル中級	一般	10回	—	15名	—	133名	

美和公民館

講座名	対象	回数	受付者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
イタリアのおうちごはん	一般	5回	—	24名	—	107名	
カラーコーディネート講座	一般	5回	—	24名	—	93名	
骨盤エクササイズ	一般	5回	—	30名	—	133名	
楽しく学ぶ英会話レッスン	一般	5回	—	10名	—	48名	
野菜たっぷりアジアごはん（託児付）	一般	5回	—	29名	—	122名	
やさしいハンブル入門講座	一般	5回	—	24名	—	111名	
骨盤エクササイズ2	一般	5回	—	30名	—	125名	

甚目寺公民館

講座名	対象	回数	受付者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
プロ直伝！一味違うコーヒー講座	一般	1回	—	20名	—	19名	

キルトバッグ作り（託児付）	一般	5回	－	20名	－	92名	
アロマテラピー入門（託児付）	一般	5回	－	20名	－	94名	
ゆかた着付け教室（託児付）	女性	1回	－	11名	－	10名	
夏休み子ども理科教室～万華鏡を作ろう～	児童	1回	－	8名	－	8名	
乳児健診読み聞かせボランティア養成講座	一般	5回	－	18名	－	82名	
楽しく学ぶ英会話レッスン	一般	5回	－	15名	－	66名	
子ども囲碁教室	小学生以上	2回	－	8名	－	8名	
アートフラワーでクリスマスリース作り （託児付）	一般	5回	－	17名	－	69名	
源氏節人形芝居に触れる	一般	8回	－	2名	－	16名	
かんたん健康ダイエット呼吸法 （託児付）	一般	2回	－	17名	－	35名	
旬をいただく～秋の彩りレシピ （託児付）	一般	3回	－	15名	－	38名	
着物の着付けと装い（託児付）	女性	5回	－	25名	－	113名	
パソコン入門A	一般	3回	－	11名	－	32名	
パソコン入門B	一般	3回	－	16名	－	45名	
エクセル入門編A	一般	3回	－	17名	－	50名	
エクセル入門編B	一般	3回	－	16名	－	46名	

○公演・イベント・図書室事業

下記のとおり親子対象の事業を実施し、親子の触れ合いの場を提供しました。

事業名	事業内容	開催日時	会場	入場者 受講者
親子ふれあい 映画会	「劇場版アニメ忍たま乱太郎忍術学園全 員出動！の段」上映	平成23年8月27日（土） 午前10時30分～	七宝公民館 講堂	83名
	「トイ・ストーリー3」上映	平成23年5月28日（土） 午前10時30分～	甚目寺公民館 大ホール	約100名
親子人形劇 観劇会	人形劇団「むすび座」公演 「ガッパゴトゴトプッパッパ」 「いっすんぼうし」	平成24年2月4日（土） 午前10時30分～	甚目寺公民館 講義室	約100名

図書室事業	読み聞かせ	毎週土曜日(第2除く) 39回/年 午後2時～午後2時30分	甚目寺公民館 図書室	約150名
	紙芝居	第2土曜日 12回/年 午後2時～午後2時30分	甚目寺公民館 図書室	約50名

○パソコン相談室

甚目寺公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

実施回数	24回
五条高等学校パソコン部委託分	12回
甚目寺パソコンクラブ委託分	12回

七宝公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

現在七宝地区の住民の方3名のボランティアのご協力により実施しています。

実施回数	24回
------	-----

※講座を通じて、自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。また親子対象の事業では、親子で参加することで、親子のふれあいを深めることができました。

■成人式事業

成人の日を迎えたことをお祝いし、これから一層成長されることを願って、市と教育委員会の共催により実施しました。

- ・日時及び場所：平成24年1月8日(日)＜第2日曜日＞
午前10時～午前11時、甚目寺公民館大ホール
午前10時～午前11時、美和文化会館大ホール
- ・行事の内容：式典、成人式実行委員会企画
- ・記念品：ミニフリーアルバム
- ・新成人：平成3年4月2日～平成4年4月1日生れ
- ・対象者：市内776人(男性403人、女性373人)
市外参加希望者49人(男性29人、女性20人)
- ・参加者：640人(男性340人、女性300人) ＜参加率77.6%＞
※市外参加希望者を含む

※2会場での成人式でしたが、新成人の代表者により、受付、司会等を行い、感動的な式典となりました。

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、母親は身近な子育てモデルもなく、育児不安やストレスを抱えています。幼児期家庭教育講座を開催し、母親のリフレッシュと子育て

てについての知識を広げ、よりよい子育てや育児ができるように実施しました。

○幼児期家庭教育講座

講座名	開催場所	受講者数		備考
		組	人数	
ハンバーガーを作って食べよう	七宝公民館	12組	40名	
	美和公民館	9組	23名	
親子で野菜作り Part5	二ツ寺地内	20組	56名	
ドロンコ遊びをしよう	二ツ寺地内	12組	30名	
カヨコおばあちゃんに学ぼう (久保田カヨコ講演)	美和文化会館	—	109名	
とっておきの1枚でアルバムクラフト	七宝公民館	2組	3名	
	美和公民館	1組	2名	
パパ&ママのスタイルUP! 講座	甚目寺公民館	8組	24名	
子どもの自主性を育てる“かたづけ術”	甚目寺公民館	—	25名	
赤ちゃんと一緒にベビーダンス	甚目寺公民館	13組	26名	
	美和公民館	13組	28名	
	七宝児童館	16組	34名	
開催! 芋ほり祭り	二ツ寺地内	20組	50名	
祖父母向け“孫育て”のヒント	七宝公民館	—	15名	
クリスマスを食べよう	美和公民館	9組	18名	
	七宝公民館	7組	14名	
	甚目寺公民館	10組	20名	
あなたに伝えたいこと (堀田あけみ講演)	美和文化会館	—	48名	

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化しつつあり、家庭教育のあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校PTA関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

【各小中学校委託】 35事業 (小学校12校、中学校5校)

○「子育てサロン」

七宝公民館和室・甚目寺公民館談話室に「飲食ができるスペース」、「子どもを遊ばせることができるスペース」をつくり、子どもや保護者たちが集える場を提供しました。

- ・七宝公民館（8・12月を除く月2日間 午前10時～午後0時30分）
開催日数 延べ16日（平成23年6月より開始）
参加者数 延べ101組205人
- ・甚目寺公民館（8・12月を除く月3日間 午前11時～午後2時）
開催日数 延べ30日
参加者数 延べ242組515人

※参加者が子育ての知識を得ることは勿論、親同士のつながりを持つことができ、今後の子育ての問題解決の糸口となりました。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

○あま地区少年補導委員連絡会設立総会

平成23年4月9日(土) 午後2時～ 美和公民館 実習室

○あま市青少年健全育成推進協議会総会

平成23年7月11日(月) 午後3時30分～ 美和公民館 研修室

○夏季街頭パトロール活動

平成23年8月1日(月)～26日(金)の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○あま市サマーフェスティバル夜間街頭パトロール活動

平成23年8月6日(土) 美和グラウンド周辺の街頭パトロールを行いました。

○街頭啓発活動

平成23年10月29日(土) 安全安心大会会場（美和文化会館）午後1時～啓発資材（マスク）の配布などを行いました。

○あま市オータムフェスタ街頭パトロール活動

平成23年11月3日(木) 鷹居グラウンド周辺の街頭パトロールを行いました。

○冬季街頭パトロール活動

平成23年12月22日(木)～平成24年1月6日(金)の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○啓発資材の配布

平成24年2月1日(水)～29日(水)の「家庭の日」強調月間にあわせ、七宝・美和・甚目寺公民館にて啓発資材(花・野菜の種子)の配布を行いました。

○中学校卒業式前夜パトロール活動

市内各中学校卒業式(3月8日)の前夜の平成24年3月7日(水)、校内及び会場周辺における街頭パトロールを行いました。

※いじめ問題に悩む子ども、非行にはしる若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく多様な交流の機会ができました。そして、大人として青少年の健全育成のためにどのような事ができるかを考える契機となりました。

■人権教育推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を実施し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図りました。

○海部地区人権教育講演会(共催:あま市小中学校人権教育研究会)

人権問題に係る正しい認識と理解を深めることを目的として、他市町村の方へも広く参加を呼びかけ、実施しました。

- ・日 時:平成23年8月5日(金) 午後2時～午後4時
- ・場 所:甚目寺公民館大ホール
- ・講 師:栗原 美和子さん
テレビプロデューサー・作家
- ・演 題:「差別のない社会をめざして～橋はかかる～」
- ・参加者:約600人(対象/市内小中学校教職員、PTA関係者、海部地区小中学校教職員 他)

※講演を通じて、多くの方が人権に対する正しい理解を得ることができました。

■文化振興事業

市民が芸術や文化にふれる機会や芸術・文化活動の発表の機会の充実を図りました。

○あま市文化祭(あま市文化協会主催)

あま市文化祭は、あま市文化協会が主催し、あま市の補助金を活用して、市民及び文化・芸能団体に発表の機会を提供するとともに、文化・芸能に係る資質の向上を促し、市民のより豊かな生活の実現を目指し開催しました。

- ・作品展示、生花展示、芸能発表会、茶会
日時:平成23年11月5日(土)、6日(日) 午前10時～午後4時
会場:甚目寺公民館、美和文化会館、七宝公民館

参加者数：作品展示 文化協会 42 団体 748 名、一般参加 13 名
 芸能発表会 文化協会 62 団体 948 名、一般参加 8 団体

・囲碁大会

日時：平成 23 年 11 月 13 日（日） 午前 9 時～午後 4 時
 会場：美和文化会館
 参加者数：文化協会 3 団体 54 名、一般参加 3 名

・将棋大会

日時：平成 23 年 10 月 30 日（日） 午前 9 時～午後 4 時
 会場：甚目寺公民館
 参加者数：文化協会 2 団体 51 名、一般参加 4 名

※参加者にとっては発表の場、来場者にとっては文化活動に触れる機会をより多く提供できたことは文化振興の一助となりました。

■歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業

市民一人一人の文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内各地にて各種事業を実施しました。

○企画展

下記のとおり、美和歴史民俗資料館にて企画展を実施、多くの方に来館いただきました。2 月 12 日に名鉄ハイキングが実施され、2,500 名以上の方が 1 日で来館しました。

	企画展名	開催場所	期間	入場者数
〈1〉	第 21 回 ときのきねんび展	美和歴史民俗資料館	5/30～6/30	2,243 名
〈2〉	夏を彩る日本画展	美和歴史民俗資料館	7/23～8/30	356 名
〈3〉	福島正則とあま市の 戦国武将展	美和歴史民俗資料館	10/30～11/29	560 名
〈4〉	春を感じる日本画展	美和歴史民俗資料館	2/12～3/31	3,202 名

○歴史散策会および見学会

市内各地の史跡や文化財を散策することにより、あま市の歴史を知る機会を提供しました。対象：一般向け（受講 1 年目の人）6 回（内 1 回は中止）、フォローアップは 2 年目以降の受講者が対象、甚目寺観音展は一般向け。

	期日	コース	参加者数
〈1〉	4/17	蓮華寺二十五菩薩来迎会と周辺散策	20名
〈2〉	5/13	天然記念物藤の見学会を考える散策会（フォローアップ）	20名
〈3〉	5/21	七宝町桂と川部周辺の散策	20名
〈4〉	6/18	甚目寺観音周辺散策会 雨のため中止	-
〈5〉	7/27	①甚目寺観音展見学会	25名
〈6〉	7/29	②甚目寺観音展見学会	25名
〈7〉	8/4	③甚目寺観音展見学会	25名
〈8〉	8/16	④甚目寺観音展見学会	25名
〈9〉	8/21	香の物祭の見学会を考える散策会（フォローアップ）	20名
〈10〉	10/9	木田 湯之花神事と木田周辺の散策会	20名
〈11〉	11/11	秀吉清正記念館 企画展の見学会（フォローアップ）	20名
〈12〉	12/12	納会 清掃散策と郷土料理の試食会	20名
〈13〉	2/11	下之森 八幡社オコワ祭と周辺散策会	20名

○水文化継承事業（エコきっず調査隊など）

地元の川や生物を調べることにより、あま市の水文化を知る機会を提供しました。対象は小学生。

	期日	内 容	参加者数
〈1〉	7/9	田んぼの学校（宮田用土地改良区の協力）	*50名
〈2〉	7/16	地元の川の水調べ	20名
〈4〉	8/5	木曾川調査（国土交通省木曾川下流事務所の協力）	20名
〈5〉	8/12	田んぼの学校 その2	20名
〈6〉	8/17	エコきっずサミット（蟹江町産業会館）	*55名

*については他市町のエコきっず隊と共同で実施

○講演会および文化財講座など

あま市の歴史や文化を題材にした講演会を開催し、あま市の歴史や文化への知識を深めることができました。

	期日	演題／講師	参加者数
〈1〉	6/26	文化財講座 「甚目寺古縁起について」 講師 加藤周二氏（あま市郷土史研究会）	45名
〈2〉	7/30	文化財講座 「梵字について」 講師 坂野元昭氏（瑞泉寺住職：京都市）	25名
〈3〉	10/15	歴史講演会「ヤマトタケルの歩んだ道」 講師 竹田繁良氏（濃尾平野郷土史家）	32名
〈4〉	11/12	文化財講座 「萱津神社について」 講師 青木節夫氏（同社宮司）	31名
〈5〉	11/27	歴史講演会 「甚目寺観音展の舞台裏」 講師 山田伸彦氏（名古屋市博物館学芸員）	52名
〈6〉	2/18	海部歴史講演会 （主催は愛西市教育委員会） 「江戸時代の教育」 講師 小泉吉永氏、浅井厚視氏、石田泰弘氏	230名
〈7〉	3/12	文化財講座「大化の改新以降の海部地域のようす」 講師 甚目憲一郎氏（あま市郷土史研究会）	35名

○体験講座

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。8月には廃材を利用して組み立てる動くおもちゃ作りを企画し、もの作りの楽しさを伝えました。

	期日	演題／講師	受講者数
〈1〉	6月から 2月まで	古文書解説講座（前期7回・後期7回） 講師 藤井智鶴氏	392名
〈2〉	8/1、5	動くおもちゃ作り教室（小学生対象）	20名
〈3〉	12/3	しめ縄教室 講師 竹田武夫氏	20名

○あま市ものしり検定

- ・ 実行委員長 浅井厚視氏（市文化財保護審議会委員）
- ・ 日 時：平成24年2月5日（日） 午後2時～
- ・ 会 場：美和文化会館
- ・ 上 級：受検者44名、合格者15名（合格率約34%）
- ・ 初 級：受検者28名、合格者20名（合格率約71%）

上級者向け現地説明会

	期日	演題／講師	受講者数
〈1〉	11月25日 11月26日	七宝焼を知る/アートヴィレッジ職員	34名
〈2〉	12月2日 12月3日	甚目寺観音を知る/実行委員	35名

初級者向け講習会

	期日	演題／講師	受講者数
〈1〉	1月22日	対策講習会/テキスト執筆者6名	43名

○第58回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練

- ・日 時：平成24年1月26日(木) 午前10時～午前11時
- ・参加者：海部東部消防署 22名、市消防団 7名、甚目寺観音自衛団 8名
- ・その他：甚目寺小学校 4年生が見学

○刊行物

あま市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行しました。

	タイトル	内 容	備 考
〈1〉	あま市ものしり検定ジュニア版テキスト	あま市の古代から中世、戦国武将、七宝焼、あま市と街道、近世の教育などを紹介	A4版、77頁 1,000部
〈2〉	あま市文化財マップ(増刷)	あま市の文化財を3地区ごとに見開きで紹介	A4版、8頁 1,000部、4色刷り
〈3〉	資料館だより ニュースレター002号	あま市検定ジュニア版について、つまみぐい郷土史など	A4版、6頁 2,000部

○共催事業 仁王像修復記念「甚目寺観音展」

主催・・・名古屋市博物館、あま市、あま市教育委員会、宗教法人甚目寺、中日新聞社、日本経済新聞社、文化庁

会期・・・7月16日～8月28日 36日間

入館者数・27,493名

出展数・・・138件 190点

- ※ 歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより、郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、消防訓練の実施により文化財保護意識の高揚の一助となりました。

■社会教育施設整備事業

生涯学習活動拠点となる公民館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○美和公民館省エネ推進（講堂空調機更新及び照明器具更新）工事

愛知県が策定した地域グリーンニューディール基金事業計画に基づき、老朽化した講堂空調設備及び照明器具の更新工事を実施し設備更新に努めると共に省エネ及び温暖化対策に寄与しました。

事業内容 講堂空調設備及び照明器具の更新

事業費 19,267,500円

※この更新工事を実施したことにより、講堂空調設備及び照明器具の機能維持を図ることができました。

○美和公民館屋外改修（講堂屋根淵部及びステージ屋根防水）工事

屋上の露出防水の劣化箇所について改修工事を行うことにより講堂内への雨水の侵入を防ぐことができました。

事業内容 講堂屋根淵部及びステージ屋根の防水及び水勾配改修

事業費 2,315,250円

※この改修工事を実施したことにより、建物の機能維持を図ることができました。

○甚目寺公民館 直流電源装置整流器更新工事

電気事業者から送電される交流電力を直流電力に変換するとともに非常用蓄電池に充電、また停電時に蓄電池からの制御電源を供給する装置である整流器は、昭和59年の開館以来27年が経過し機器の耐用年数を大幅に超過していたため、直流電源装置整流器の更新工事を実施し、設備整備に努めました。

事業内容 直流電源装置整流器の更新

事業費 5,439,000円

※この更新工事を実施したことにより、直流電源装置の機能維持を図ることができました。

○甚目寺公民館 自動火災報知機受信機更新工事

建物内に設置された、感知器や発信機からの火災信号を受信し、火災の発生を全音響と地区表示により知らせるとともに、地区音響装置を鳴動させ、報知による避難と初期消火活動を促す設備である自動火災報知機受信機は、昭和59年の開館以来27年が経過し機器の耐用年数の超過による誤作動等の故障が発生していたため、自動火災報知機受信機更新工事を実施し、設備整備に努めました。

事業内容 自動火災報知機受信機の更新、煙感知器等末端機器の交換

事業費 3, 123, 750円

※この更新工事を実施したことにより、火災発生時の報知機器の機能維持を図ることができました。

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりとするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室・講座事業を実施しました。

教室名	期間	実施場所	回数	対象	参加者数	内容
親子体操教室（前期）	5月24日～ 7月12日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	14組	親子と一緒に鉄棒・マット運動・跳び箱等を行い、楽しく運動の基本を習得する。
親子体操教室（後期）	10月25日～ 12月13日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	25組	
親子体操教室①	6月7日～ 2月21日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
親子体操教室②	6月14日～ 2月28日 隔週火曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	15回	親子	26組	
親子体操教室③	6月14日～ 2月28日 隔週火曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
エアロビクス教室（前期）	6月7日～ 7月26日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	25名	ストレッチを中心にウォーキングとローインパクトのステップ動作など、エアロビクスの基礎を習得する。
エアロビクス教室（後期）	11月1日～ 12月20日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	22名	
ヨガ教室（前期）	6月10日～ 7月29日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	30名	ヨガの基本的な呼吸法と基本ポーズを習得する。
ヨガ教室（後期）	10月28日～ 12月16日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	30名	

ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～①	10月6日～ 12月8日 毎週木曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	「運動の習熟」を主眼に、子どもたちが運動の日常化や身体を動かす楽しさや喜びを感じられることを目的とする。
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～②	10月6日～ 12月8日 毎週木曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	
ディスクゴルフ教室	10月22日～ 12月17日 毎週土曜日	美和公民館	5回	一般	11名	ディスクゴルフの基礎的な技術を習得する。
はつらつ健康教室 ～シニア運動教室～	10月6日～ 12月8日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	高齢者	10名	自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的とする。
健康・体力づくり教室 ～総合体育館トレーニング室を利用しよう～	10月15日～ 12月3日 毎週土曜日	甚目寺 総合体育館	8回	中学生 以上	10名	トレーニング室の設備を利用しながら、器具の使用方法・トレーニング方法を習得し、継続的な運動習慣を身につける。
キッズエアロファンク教室	7月26日～ 8月17日 毎週火水曜日 (15:00～16:00)	七宝 総合体育館	8回	小学生	12名	ヒップホップの曲にあわせて、楽しく踊ることでリズム感覚を養い、連動した動作を習得する。
キッズエアロファンク教室	7月21日～ 8月12日 毎週火水曜日 (14:00～15:00)	甚目寺 総合体育館	8回	小学生	8名	
スナッグゴルフ教室	7月28日～ 8月25日 毎週木曜日 (14:30～15:30)	七宝 総合体育館	5回	小学生	14名	誰でも簡単にゴルフの基本を学べるスナッグゴルフを通じて、新しいスポーツへの関心を高める。

※各年齢層にあわせた教室を開催したことで、より多くの市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、基礎的な教室を多く開催したことにより、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や

市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、街の活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、各種体育事業を実施しました。

行事・大会名	期 日	曜日	実施場所	参加者数	内 容
市民ラジオ体操の集い	7月24日	日	七宝焼 アートヴィレッジ	686名	基本的な体操である「ラジオ体操」を、今一度、広く親しんでもらい、市民の健康と親睦を図る。
市民スポーツフェスティバル	10月16日	日	美和グラウンド	293名	一人1種目自分にあったスポーツにチャレンジしてもらおう。
市民綱引き大会	12月11日	日	甚目寺 総合体育館	25チーム/ 250名	チーム対抗で競い、仲間との絆や地域とのつながりを育みます。

※市民に広くスポーツに親しんでいただくことで、より一層親睦が深まり、あま市としての地域のつながりや街の活性化に資することができました。

■その他スポーツ事業

事業名	期 日	曜日	実施場所	参加者数	内 容
夏休みプール開放事業	8月5日・ 12日・19 日・26日	金	ルネサンス甚目寺	延べ278名	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生を対象に市内の民間プールを活用してプール開放を実施

■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるように体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○甚目寺総合体育館サブアリーナ冷温水発生器修繕工事

開館後20年以上が経過し、サブアリーナ空調設備の老朽劣化が著しいため、修繕工事を行い、施設整備に努めました。

事業内容 サブアリーナ空調冷温水発生器整備等
事業費 7,098,000円

※この改修工事を実施したことにより、利用者が快適な環境でスポーツを楽しむことができるようになり、スポーツ環境の改善に寄与することができました。

○甚目寺総合体育館メインアリーナ・サブアリーナ床修繕工事

バスケットボールのルール変更に伴い、コートデザインが変更となったことや、開館以来の使用により、表面コーティングの劣化、キズ、床板の傷み、ラインテープの剥がし痕による汚れが酷いため、床面サンダー掛け、床面塗装、コートラインの塗装を行い、施設整備に努めました。

事業内容 メインアリーナ・サブアリーナ床面整備等

事業費 5,659,500円

※この改修工事を実施したことにより、利用者の利便性の向上に寄与することができました。

○甚目寺総合体育館コインロッカー更新・耐震化工事

開館当時からの使用により、ロッカーの老朽化で使用不可のものが多く、トレーニング室前更衣室コインロッカー及び武道場更衣室ロッカーを交換しました。また、新たにトレーニング室内に貴重品ロッカー及び弓道場更衣室にロッカーを設置しました。同時に、全ロッカーに耐震工事を行い、転倒防止用金具により床と壁に固定し、施設整備に努めました。

事業内容 ロッカー交換・設置及び館内全ロッカーの耐震化等

事業費 3,297,000円

※この工事を実施したことにより、利用者の利便性・安全性の向上に寄与することができました。

○七宝総合体育館事務室等空調機器更新工事

老朽化により空調機器が故障したため、利用者に快適な利用環境を提供するための機器の更新工事を行いました。

事業内容 事務室、柔道場、剣道場、トレーニング室、3階ミーティング室空調機器更新及び電気設備工事

事業費 15,435,000円

※この工事を実施したことにより、利用者の利便性の向上・スポーツ環境改善に寄与することができました。

○七宝鷹居グラウンド管理棟改修工事

老朽化により雨漏りが激しく天井が抜け落ちている状況であったため、利用者に安全で快適な環境を提供するため防水工事及び内装工事を行いました。

事業内容 防水工事、内装塗装工事

事業費 19,057,500円

※この工事を実施したことにより、利用者の安全性の向上・利用環境の改善に寄与することができました。

○美和テニスコート改修工事

コート面が多くのところ凸凹となり、利用者に危険を及ぼす恐れがあるため、改修工事を行いました。

事業内容 既設ラインテープの除去、グリーンサーフェイスと土質改良材の敷き込み、不陸整正、仕上げローラー転圧、テニスコートライン張り

事業費 997,500円

※この工事を実施したことにより、利用者の利便性の向上、スポーツ環境改善に寄与することができました。

■文化会館自主事業

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

事業名	開催日時	会場名	参加者数
親子天体観測教室	4月16日 18:30～20:30	アートスペースM ふれあいの森	60名
	11月12日 18:30～20:30	多目的ホールA・B・C ふれあいの森	30名
ガーデニング教室	4月23日 9:30～11:30	アートスペースM	15名
	11月26日 9:30～11:30	アートスペースM	34名
エンジョイカラオケ教室	5月6日 14:00～16:00	多目的ホールB・C	25名
	6月10日 14:00～16:00	多目的ホールA・B	20名
	7月8日 14:00～16:00	多目的ホールA・B	18名
	9月9日 14:00～16:00	多目的ホールA・B	23名
	10月14日 14:00～16:00	多目的ホールA・B	23名
	11月11日 14:00～16:00	多目的ホールA・B	17名
文化の杜さわやかコンサート	5月14日 14:00～16:00	大ホール	565名
水彩画教室	6月11日 13:30～16:00	多目的ホールA・B	22名
	10月22日 13:30～16:00	多目的ホールA・B	17名
愛知県立芸術大学管弦楽団特別演奏会	6月19日 14:00～16:00	大ホール	680名
親子ふれあい映画会	7月16日 10:00～11:40	大ホール	315名

手づくり紙細工教室	8月20日 13:30～15:30	多目的ホールA・B	33名
あま市民美術展	11月15日～ 11月24日	アートスペースM	255名
嫉妬. 混む!	11月19日 14:00～16:00	大ホール	435名
イルミネーションフェスタ in美和 模擬店	12月3日 16:00～20:30	文化会館西側駐車場	—
クリスマスジャズコンサート	12月17日 14:00～16:00	大ホール	450名
スポーツ講演会	1月14日 14:00～16:00	大ホール	350名
ふれあい芸能祭	2月12日 10:00～16:30	大ホール	約700名

※講座を通じて、自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。

■図書館事業

企画展示の開催や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

○企画展示

下記のとおり企画展を開催しました。

事業名	実施内容	期 間	会 場
企画展示	「再会 兎ちゃん! (3 土人形の兎)」全31点展示	4/1～5/31	図書館内展示ケ ース
	「再会 兎ちゃん! (2 土鈴の兎)」全55点展示	6/1～7/31	
	「ルリユール展」全23点展示	8/2～9/30	
	「絵地図～昔の観光ガイドマップ～展」9点陳列	10/1～11/30	
	「再会 竜神さん! (1 張子の竜)」全69点展示	12/1～1/31	
	「再会 竜神さん! (2 木の竜)」全82点展示	2/1～3/31	
	「災害を知る」図書資料展 蔵書200点他、あま市安全安心課からの借用資料等展示	7/1～8/31	図書館内フロア ー

※企画展を開催したことにより来館者が文化に接するよい機会となりました。

○図書館事業

下記のとおり、各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

事業名	実施内容	回数	延べ参加者	会場
ちくちく手作りの会	ブックトークの後、絵本やおはなしにでてくるキャラクター等を針と糸で手作りする。	3回	56名	美和文化会館会議室 アートスペースM

読書ラリー	夏休み期間中図書館へ通って本を借り、本に親しむ習慣を身につける。	7/1～8/31		
七夕飾り	利用者の願い事短冊をくくった竹笹をカウンター横に設置。	7/1～7/7		図書館内フロアー
図書館探検	図書館の仕事や活用方法等を体験して、図書館を身近な存在にする。	2回	12名	美和文化会館会議室 図書館内フロアー
図書修理ボランティア養成講座	蔵書の修理を行うボランティアを養成することを目的に実施。	3回	50名	美和文化会館多目的ホール
講演会	演題「美和の歴史散策あれこれ」	1回	67名	美和文化会館多目的ホールB・C
子どもの本を楽しむ会	内容『赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうた』 「赤ちゃんと楽しむわらべうた」 「親子で楽しむふれあい遊び」 「赤ちゃんと楽しむ絵本」	3回	63名	美和文化会館多目的ホールB・C アートスペースM
ブックリサイクル	図書の有効活用を図るために、一般家庭で不要になった図書や当館所蔵の廃棄した雑誌をボランティアの協力を得て無償で提供。8割ほどが再利用される。	1回	—	美和文化会館ロビー
絵手紙教室	所蔵する郷土玩具から来年の干支「辰」を選び年賀状作成に備える。	1回	17名	美和文化会館多目的ホールA
本と遊ぼう全国訪問おはなし隊	講談社主催でキャラバンカーに絵本を乗せた全国ツアーの会場地になる。	1回	70名	美和文化会館多目的ホールA・B ふれあいの森
講演会	演題「わらべうたの力」	1回	47名	美和文化会館多目的ホールA・B
もこもこのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等	4 5回	1,074名	おはなしコーナー
おはなしを聞く会	「語りの会 おはなしペロリ」による物語や昔話等を聞く会。	2回	33名	おはなしコーナー
お楽しみおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた等	8回	133名	おはなしコーナー

出張読み聞かせ会(乳児・幼児対象)	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた	1 2回	229組	美和子育て支援センター
出張読み聞かせ会(乳児・幼児対象)	絵本の読み聞かせ、手遊び等	1 2回	102組	美和児童館(集いの広場)
出張読み聞かせ会	絵本の読み聞かせ、手遊び等	1 2回	篠田保育園 児	篠田保育園
出張読み聞かせ会	絵本の読み聞かせ、ペープサート、わらべうた等	1 2回	正則保育園 児	正則保育園
出張読み聞かせ会 乳児健診	3・4ヶ月健診の親子に対して読み聞かせとわらべうたを歌う。読み聞かせの重要性の説明や図書館等の利用案内。	1 2回	197組	美和保健センター
出張読み聞かせ会 マタニティー教室	母親向けの育児のための絵本の読み聞かせ、わらべうたと育児における良書の読み聞かせの効用の説明。	4回	16名	美和保健センター
ブックトーク	テーマは「ゆき」「まめ」	1回	38名	甚目寺西小学校
図書館見学	・弥富市立図書館長 ・郷土玩具同好会「日本雪だるま」11名 ・あま市立秋竹小学校第3学年児童26名、職員2名	3回	40名	美和図書館内
職場体験学習	あま市立美和中学校生徒職場体験学習 あま市立七宝中学校生徒職場体験学習 あま市立甚目寺中学校生徒職場体験学習	3回	11名	美和図書館内
国際交流フレンドシップ事業	「ブラジルのおやつを作ってみよう」	1回	21名	美和公民館調理室

※各種講座・読み聞かせ等を通じて、親子のふれあいを深めることができました。

(3) 学校給食センター

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○学校給食センター課主催事業 親子料理教室

給食での人気献立や家で簡単に作ることでできる料理を題材とした調理実習を通して、調理の楽しみを体験し、学校給食や食に対する理解を深めました。また、親子で調理をすることで、家庭での食に対する関心を高めるために、平成23年7月27日美和公民館にて親子料理教室を開催しました。当日は12組の参加が

ありました。

**※児童は料理作りを通して、料理をすることの楽しみを味わうことができました。
また、保護者と一緒に作ることにより、家庭での食に対する興味も高めることができ、家族の一員としての意識を向上させることができました。**

○学校における食に関する指導の実施

児童生徒の食への興味・関心を高め、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭・学校栄養職員が各学校にて、学級担任とTT授業をしたり、給食時間に給食を教材として指導をしました。また、毎月給食センターから献立表や給食だより、盛り付け図などを配布し、給食を通し食への関心を高めました。

※学校給食を考えている栄養教諭・学校栄養職員が直接話すことにより、児童生徒の食への興味・関心を高めることができました。また、各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり、声をかけたりすることで現状を把握し、献立に取り入れることができました。

○学校における健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

<u>学校保健委員会</u>	七宝小、秋竹小、美和小、正則小、甚目寺西小
<u>給食試食会</u>	七宝小、宝小、伊福小、秋竹小、七宝中、美和小、 正則小、篠田小、美和東小、美和中、甚目寺小、 甚目寺南小、甚目寺東小、甚目寺中
<u>家庭教育学級</u>	甚目寺南小、甚目寺東小、甚目寺中

※栄養教諭・学校栄養職員が関わることで、食を話題として取り上げる機会が増え、児童生徒・教職員が食への関心を持つことができました。また、保護者の興味も高まり、家庭での食に対する関心も期待することができました。

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
4月4日(月)	5月分献立委員会
4月13日(水)、15日(金)	5月分物資選定委員会
4月26日(火)	6月分献立委員会
5月16日(月)、17日(火)	6月分物資選定委員会
6月1日(水)	7月分献立委員会
6月15日(水)、16日(木)	7月分物資選定委員会
6月30日(木)	運営委員会

7月1日(金)	9月分献立委員会
8月2日(火)、3日(水)	9月・2学期分物資選定委員会
9月2日(金)	10月分献立委員会
9月15日(木)、16日(金)	10月分物資選定委員会
9月30日(金)	11月分献立委員会
10月12日(水)、13日(木)	11月分物資選定委員会
11月1日(火)	12月分献立委員会
11月15日(火)、16日(水)	12月分物資選定委員会
11月30日(水)	1月分献立委員会
12月13日(火)、14日(水)	1月・3学期分物資選定委員会
12月21日(水)	2月分献立委員会
1月12日(木)、13日(金)	2月分物資選定委員会
2月1日(水)	3月分献立委員会
2月15日(水)、16日(木)	3月分物資選定委員会
2月23日(木)	運営委員会
3月1日(木)	4月分献立委員会
3月14日(水)、15日(木)	4月・1学期分物資選定委員会

■学校給食センター整備事業

安全・安心に学校給食を提供するために、次の整備工事を行います。

○美和学校給食センターボイラー更新工事

平成12年の更新から11年が経過し、ボイラーの老朽劣化が著しいため、更新工事を行い、施設整備に努めました。

事業内容 美和学校給食センターボイラー更新工事

事業費 16,590,000円

※この更新工事を実施したことにより、安心・安全な学校給食を提供することができました。

○甚目寺学校給食センター食器・食缶等洗浄機更新工事

平成6年の整備から17年が経過し、老朽劣化が著しいため、食器・食缶等洗浄機を更新しました。

事業内容 甚目寺学校給食センター食器・食缶等洗浄機更新工事

事業費 6,195,000円

※この更新工事を実施したことにより、安心・安全な学校給食を提供することができました。

○甚目寺学校給食センター地下受水槽補修工事

昭和49年より使用している地下受水槽が36年経過し、天井部にコンクリートの剥離・東壁面に亀裂があり、補修工事を行いました。

事業内容	甚目寺学校給食センター地下受水槽補修工事
事業費	2,102,100円

※この更新工事を実施したことにより、安心・安全な学校給食を提供することができました。

7. 学識経験者による意見

学識経験者名	吉川朝博（甚目寺小学校学校評議員・人権擁護委員）
--------	--------------------------

新しい時代を拓くという気概に燃えて出発したあま市。その地歩は、これまで着実に正確であったか、検証し再出発する課題を背負っての2年目である。合併はまさに、新時代の幕開けである。時丁度、1年後の昨年、東日本大震災が日本を襲った。これまで築き上げたもの、全てが押し流される悲劇の中で、無からのスタートを国民すべてが背負うことになった。合併からのスタートは、大震災からのスタートに符合して、まさに、機を一にした大事業である。復興はまだ緒に就いたばかりだが、1年先んじた合併は、1年の長が期待される。共に、ゼロからの前進が急務、閉塞感溢れる状況下だが、そこに、かすかな兆しを見つけたい。そんな期待を込めて、今次点検・検証に当たりたい。

今次の点検・検証に当たっては、合併2年目と今日的状況に鑑みて、次の3点を主たる視点として考察を試みることにした。1点目は、ゆとりでもなく詰め込みでもなく「本当の生きる力」を養うことを目指した新学習指導要領の本格実施ができたかどうか。2点目はいじめ・虐待・不登校等問題行動の特化、男女共同参画社会の実現等の今日的状況への体制づくりができたか。3点目は、合併2年目の検証と積極的推進に向けての事業展開ができたか。

1点目については、既に平成20年2月に学習指導要領が発表されて以来、3年間の移行措置を経て、平成23年度に小学校で完全実施が始まった。外国人の英語指導助手による英語教育の推進、スクールサポーターの配置等、万全な体制整備のもとほぼ順調に実施されたと確信している。しかし、課題は、学校5日制の中で、授業時間と学習内容の増大での子どもたちへの過重負担である。確かに基礎学力の向上は喫緊の課題として問われている。だが、そこにのみ執着した指導は、木を見て森を見ずの弊害に陥る危険はないだろうか。最終目的は「本当の生きる力」の習得である。石原慎太郎東京都知事は、「豊かなくらしの中での今の子どもたちは、一番かわいそうな子どもたちだ」と明言した。世界の大企業IBMの社是は「野鴨たれ！」である。餌づけは野性を奪い、たくましさを失う。野性に期待するのは、開拓者精神であり、自らの運命を自らの力で切り開く意志とプライドである。これこそが、「本当の生きる力」といえよう。授業力向上支援事業の展開とその効果に今後大いに期待するところである。

2点目については、確実な社会認識とそこから生じる多様な課題把握が、その前提条件として求められる。課題認識がないところから解決策は生じない。あま市人権尊重まちづくり条例、あま市男女共同参画推進条例などの作成過程で何回も開催されたワークショップの話し合いは、市民の意見を聞く機会となると同時に市民の意識づくりに極めて有意義、且つ効果的であったと思う。

いじめ・虐待等の反社会的行動の一扫は、普段の協調・協力、助け合いの心の体得や、先見的で思いやりある行動の実践こそが、求められる市民像である。その意味で、教育相談センターの新たな設置は、大きな第一歩といえよう。また、あま市小中学校人権教

育研究会の実践の数々は、児童生徒の人権尊重の生き方に直結し、実効ある研究実践として高く評価される。また、明るく住みよい社会実現のための青少年健全育成推進事業の実行は、今後も拡充発展が期待される。どの事業の推進に当たっても、例年に準じてでなく、その時に見合った適切で効果ある事業展開を創意・工夫して遂行する姿勢を強く望むものである。自動織機を発明・完成させた豊田佐吉氏は、「研究と創意に心を致し、常に時流に先んずべし」をモットーにした。学校教育・生涯学習・学校給食、いずれのセクションでも、その実行を期待するものである。

3点目は、合併して2年目の検証とこれからの責務である。確固たる信念と迸る情熱、そして、堅実なロードマップがあつての2年間であつたか。一つに小中学校適正規模等検討委員会の6回にわたる検討とそれをもとにした提言書の提出、二つには、あま市教育立市プランの策定は、合併の意志である止揚・統合・拡充を達成する原動力として、今後の活用に大いに期待される場所である。特に後者は、有意な人づくりを目指す教育優先都市として歩むべき道筋を示すもので、町づくりの推進に当たつての最重要プランといえよう。この実現こそが、今後、「一生涯住み続けたいまち“あま”」の実現に直結するものと確信する。

一方、成人式の会場が1会場方式から2会場方式に変更した等、合併への歩みの中で、紆余曲折が様々にある。これは、状況に見合った適切な方策の模索で、今後も生じる現象といえよう。大切なことは、常に市民と十全なコミュニケーションを図ることで、適切且つ十全な事業展開の構築を図ってほしいことである。

生涯学習課で計画される各種の講座・教室・事業は参加できる窓口が増えたと多くの喜びの声を聞く。しかし、その一方で、応募者の数が左程に多くなく一抹の寂しさを感じる。やはり、市民全体への町から市への意識の深化・拡大がまだまだ十分でない証しといえよう。

特に教育委員会としての使命は、市民一人ひとりの人格形成・人格陶冶である。孔子の名言に「性相近し、習い相遠し」（人間の天性はほとんど変わらないが、教育によって千里の差ができる）がある。ひとえにまちづくりの根幹を担う当委員会には、向後の一層のご健闘を切に期待するものである。